

2012年12月期 決算説明会



ヤマハ発動機株式会社
2013年2月14日

本日ご説明する内容

2012年12月期 決算概要

2013年12月期 業績予想

■ **概要説明** 代表取締役社長 柳 弘之

■ **詳細説明** 取締役 篠崎 幸造

● **業績予想について**

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動などが含まれます。

概要説明

代表取締役社長 柳 弘之

2012年：減収・減益となる。

2013年：増収・増益、2011年の利益水準へ回復見込む。

(億円)

	11年実績	12年実績	13年予想
売上高	12,762	12,077	14,000
営業利益	534	186	500
営業利益率	4.2%	1.5%	3.6%
当期純利益	270	75	280
為替レート (\$/€)	\$80円/€111円	\$80円/€103円	\$87円/€115円

【2012年】

市場要因・為替円高、及び先進国事業における商品競争力不足により、減収・減益。
特に、第4四半期は、来期への在庫調整・一時的費用増加により、中間予想から乖離。

- ①二輪車：総出荷台数は、609万台(前年比▲89万台)。
欧州市場は低迷、新興国市場は景気減速・金融引締め等による一時的市場減速。
- ②マリン：総出荷台数は、32万台(前年比+2万台)。
船外機事業は、米国市場が安定回復、新興国市場も伸長。
WV事業・ボート事業は、前年比増収・増益。
- ③その他：売上高は、2,127億円(前年比+30億円)。
特機事業・自動車エンジン事業の増収が、IM事業の減収を上回る。

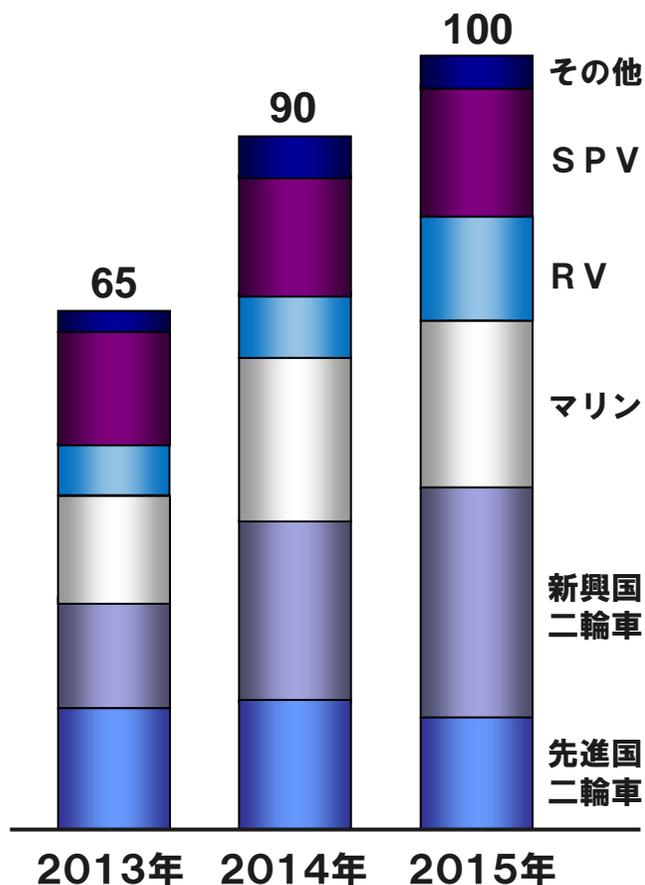
【2013年】

増収・増益を図り、中期経営計画(2015年目標:売上高1.6兆円・営業利益率5%)
の初年度として着実なスタートにする。

- ①新興国二輪車：新商品投入・マーケティング強化・ファイナンス正常化=>650万台回復。
- ②先進国二輪車：新商品投入・ヤマハの世界づくり=>販売底打ち。
- ③マリン：総合成長戦略=>売上高3,000億円・ゆるぎなきNo.1への施策促進。
- ④RV・SPV・特機：成長戦略=>布石づくりから刈り取りへ。
- ⑤グローバル・コストダウン展開、欧州事業体制の再構築、国内生産体制の再編成など。

- ①2013年：ニューモデル投入 65モデル（前年比+50%）
- ②ヤマハらしい『コンセプト』・『技術』・『デザイン』のモノ創り
- ③2014年・2015年：更に投入数を増やす

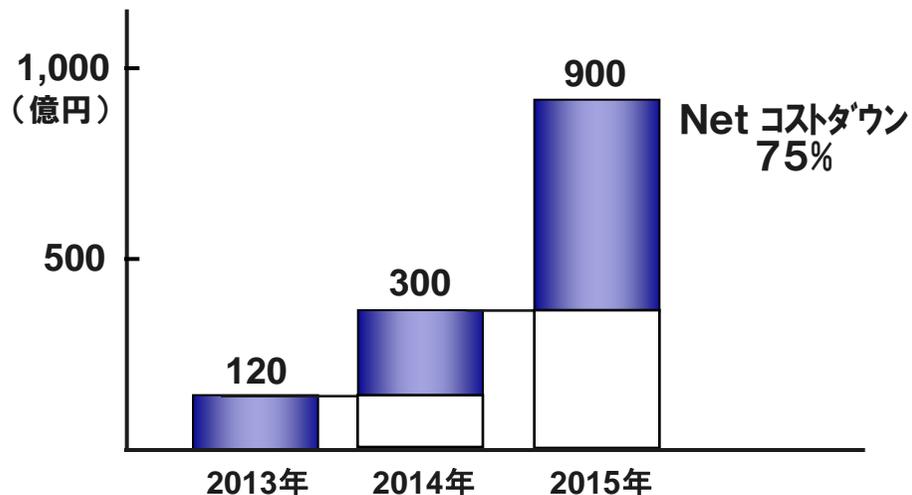
【中期】ニューモデル投入



【2013年】主なニューモデル投入

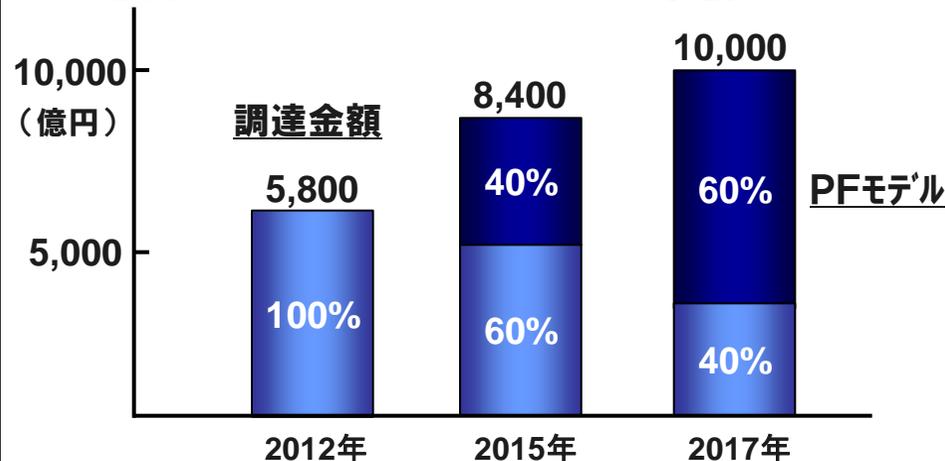
- 先進国二輪車
 - ・スポーツ・クルーザー・コンペティション等、新ラインナップ投入
- 新興国二輪車
 - ・アセアン：全セグメント強化、FI化（67%）
 - ・ブラジル：新ラインナップ投入
 - ・インド：SCセグメント強化
- マリン
 - ・新操船システム(ヘルム・マスター)投入
 - ・船外機：大型・軽量・コンパクトモデル投入
- RV
 - ・新オフロードビークル投入
- SPV
 - ・PAS：高機能(トリプルセンサー)モデル投入
 - ・Cats：ラインナップ拡充(リチウムモデル等)
- IM
 - ・高速機(Z:TA) 本格導入・新規顧客獲得進む

コストダウン目標値



PFに集約する

・低燃費エンジン+プラットフォーム開発推進

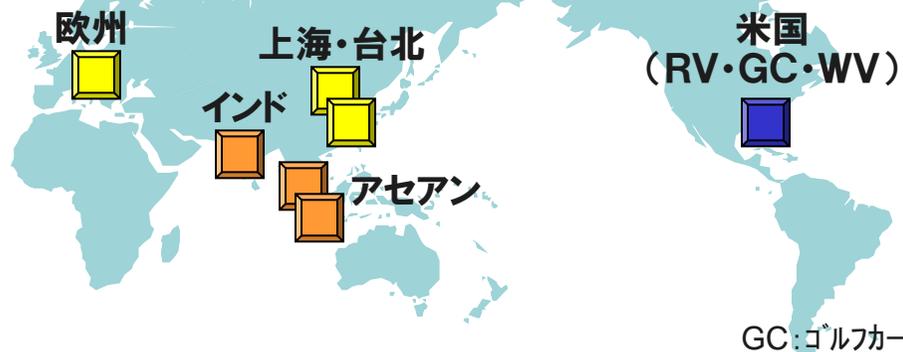


図面を変える

統合開発(開発・調達・生産)による現地設計図面化

・アセアン：市場要求商品性・低コスト(2012年)

・インド：市場品質基準・低コスト(2月)

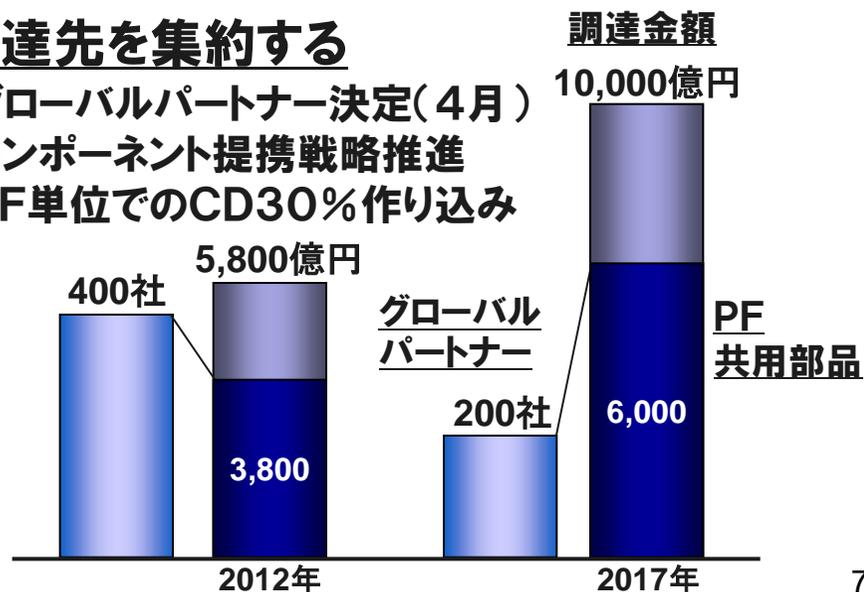


調達先を集約する

・グローバルパートナー決定(4月)

・コンポーネント提携戦略推進

・PF単位でのCD30%作り込み



インドネシア

安定成長市場で、顧客ニーズ多様化に対応してブランド力を再構築する。

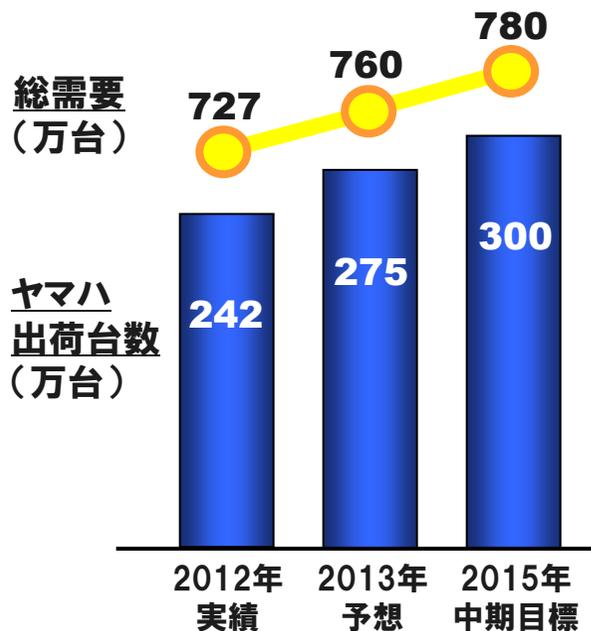
①商品競争力

- ・現地生産 5モデル投入
(現地開発含む・FI 55%=>70%)
- ・日本生産 4モデル投入

②マーケティング

- ・新しいプロモーション全国展開
(ヤマハモーターショー・レース等)
- ・アクセサリ／アパレル再導入

③ファイナンス正常化・量的拡大



ベトナム

安定成長市場で、ブランド力を強化して規模を獲得する。

①商品競争力

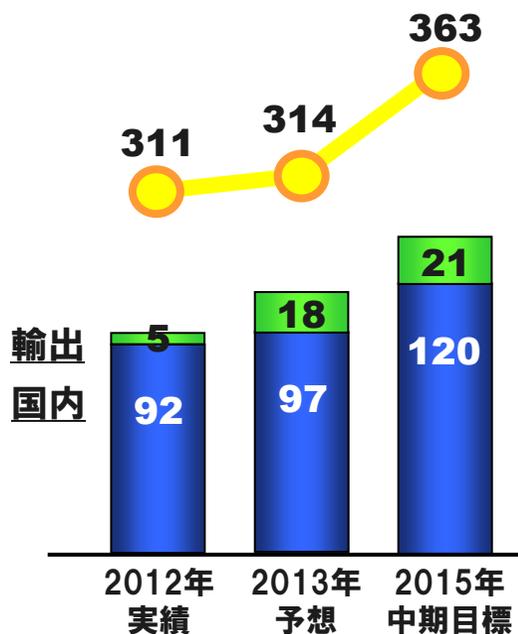
- ・現地生産 3モデル投入
(FI 21%=>40%)

②マーケティング

- ・顧客接点強化
- ・販売網拡大

③生産

- ・完成車 域内輸出拡大



インド

大きく成長する市場で、事業基盤づくりを進める。

①商品競争力

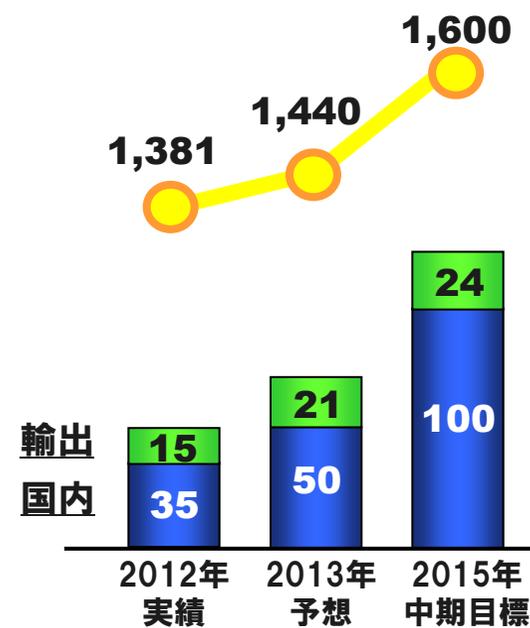
- ・SC強化(顧客ターゲット拡大)

②マーケティング

- ・顧客接点強化
- ・グローバル水準の販売店づくり

③開発・生産

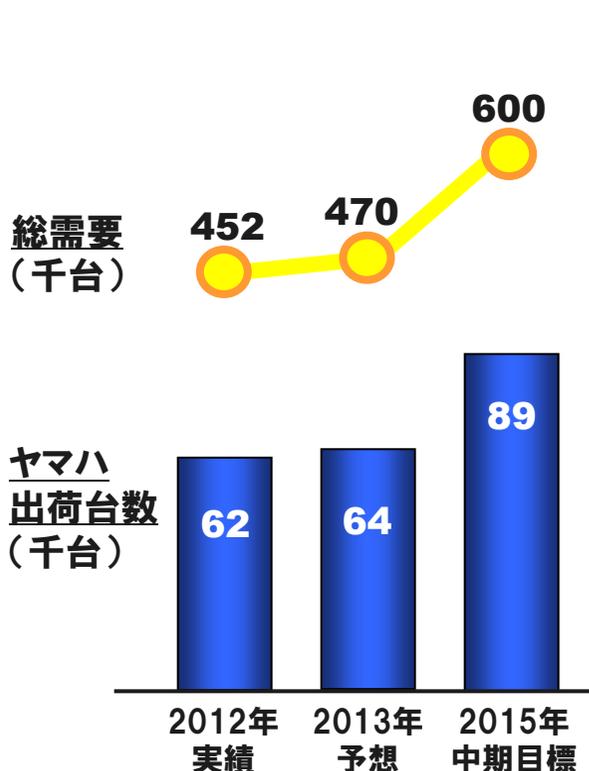
- ・統合開発センター稼働
(市場品質水準・低コスト設計)
- ・第2工場建設(チェンナイ)



二輪車(米国)

需要回復に向かう市場で、

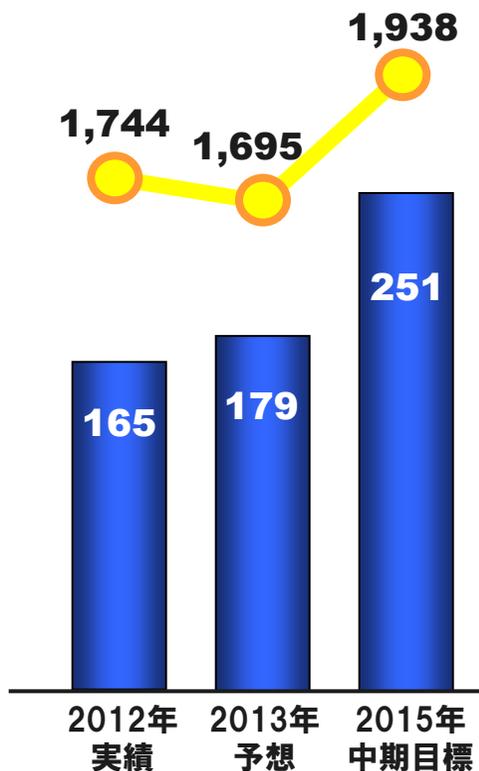
- ・商品競争力強化
(クルーザー・スポーツ・コンペ等)
- ・販売網強化
- ・市場密着型プロモーション
でブランドイメージを再構築する。



二輪車(欧州)

需要底打ちを予想する市場で、

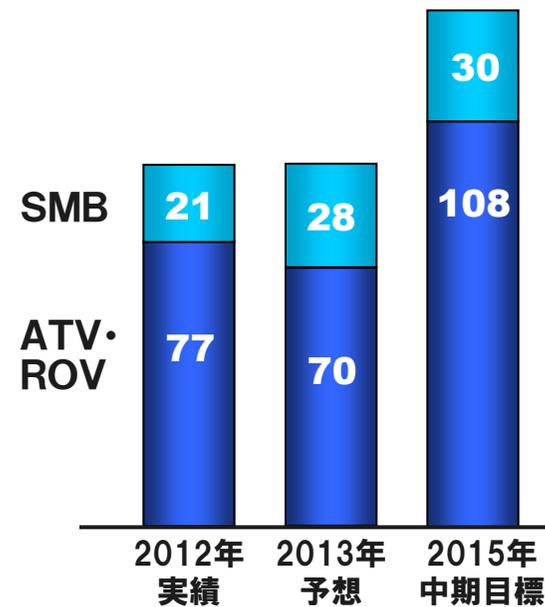
- ・商品競争力強化
(スポーツ・スクーター等)
- ・事業体制再構築
(Euro One Company)
で事業収益力回復を図る。



RV(米国・他)

需要底固い市場で、

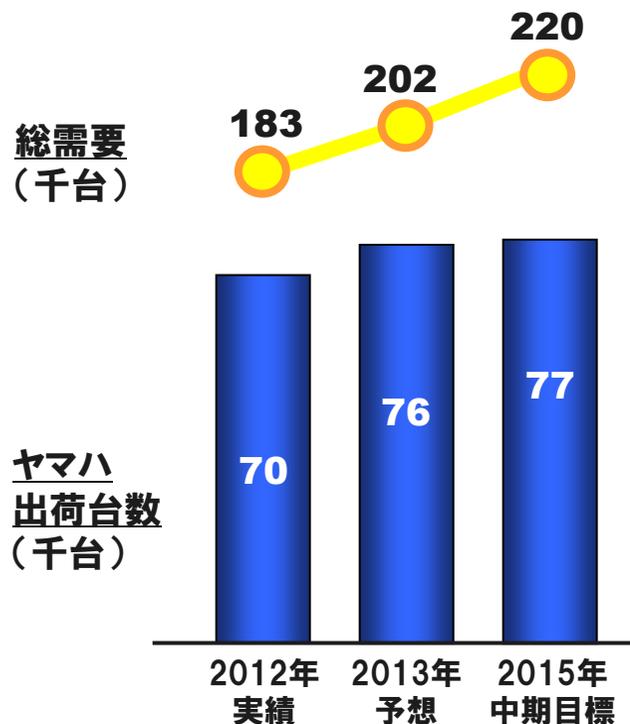
- ・新オフロードビークル投入
- ・北米企業との事業提携
- ・エンジン調達戦略
で事業収益力回復を図る。



米国船外機

需要回復続く市場で、

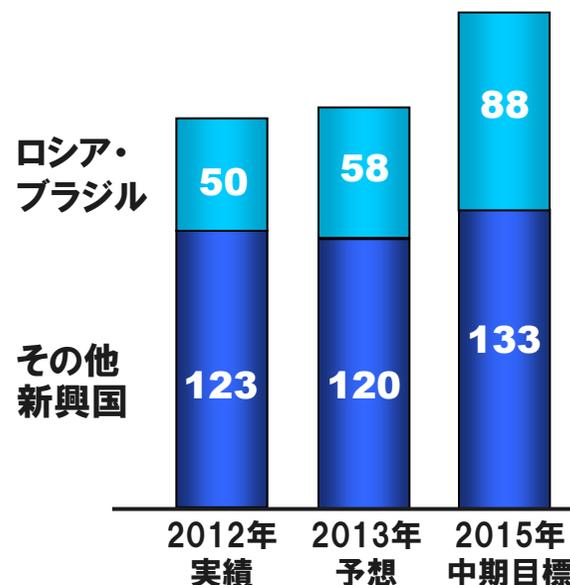
- ・新技術導入(ボルボペンタ共同開発)
 - ・商品競争力強化(淡水市場)
 - ・ボートビルダー連携強化
- で安定的シェアを確保する。



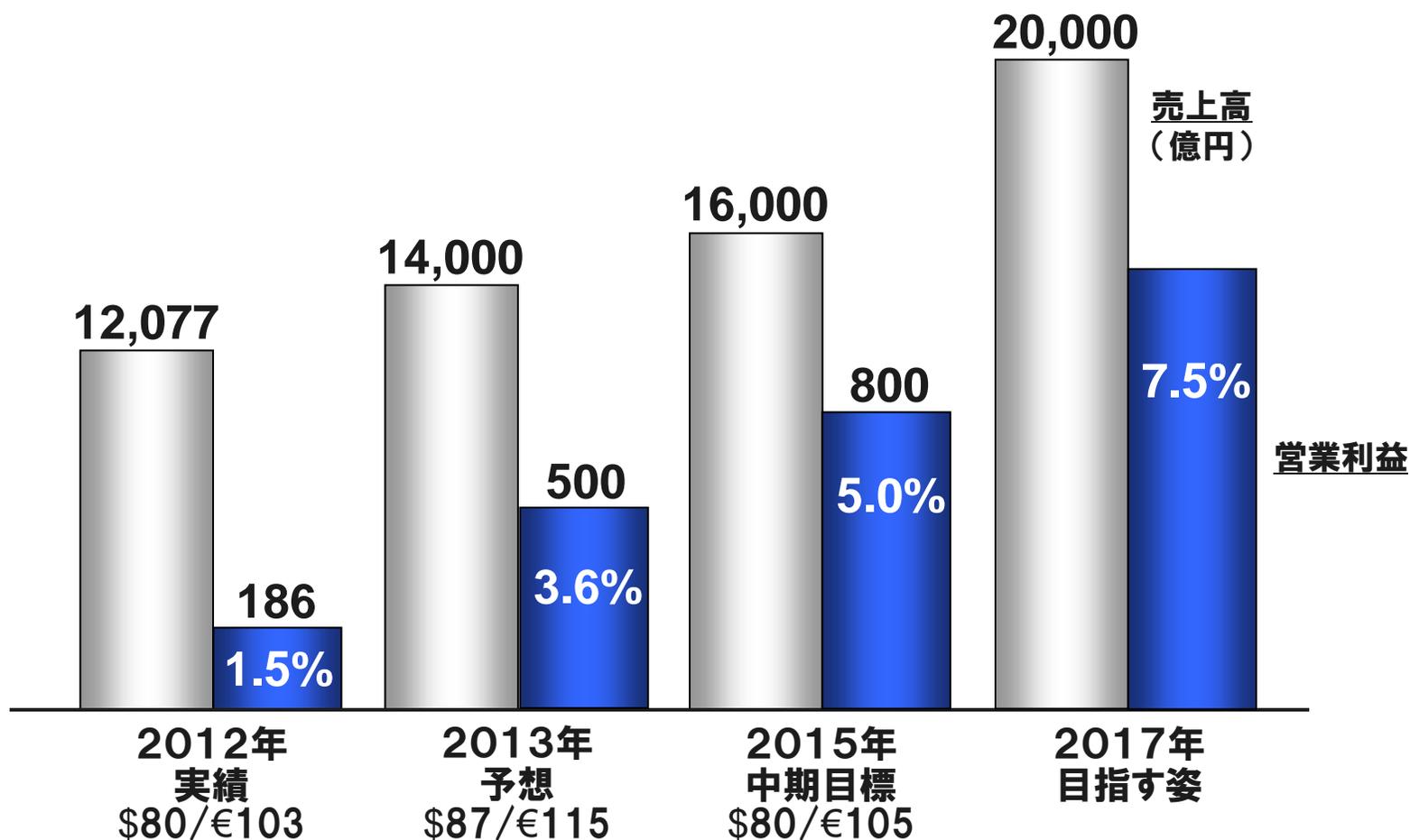
新興国船外機

需要拡大する各国市場で、

- ・商品競争力強化(高信頼性)
 - ・ボートビルダー連携強化
- で圧倒的シェアを維持する。
また中国市場では、
未開拓の業務艇事業に進出する。



新しい中期経営計画の初年度として、
『事業規模』『収益力』の回復、『企業力』強化に取り組む。
早期の売上高2兆円・営業利益率7.5%達成を目指す。



2012年：配当予想据え置き

2013年：配当性向20%以上を継続する

	11年	12年 (予定)	13年 予想
第2四半期末 配当金	—	5円	8.5円
期末 配当金	15.5円	5円	8.5円
年間 配当金	15.5円	10円	17円

事業別説明

取締役 篠崎 幸造

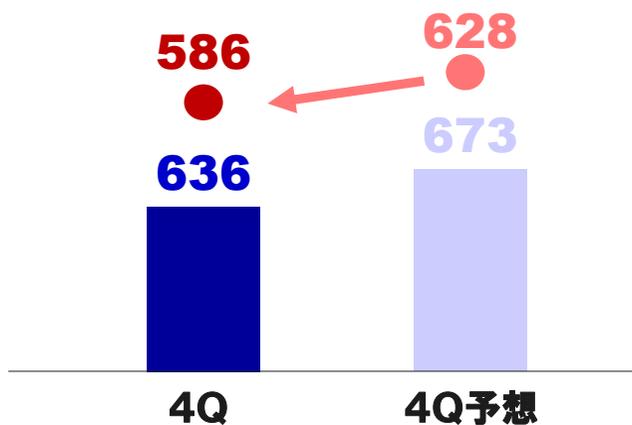
マリン事業を中心に先進国事業 増収増益も、 新興国二輪車の在庫調整により、全体で減益

(億円)

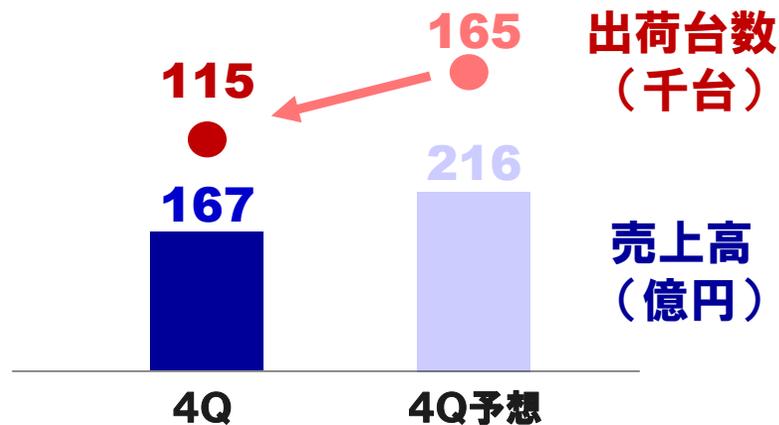
	12年予想 (8/7公表)	12年実績
売上高	12,000	12,077
営業利益	280	186
営業利益率	2.3%	1.5%
経常利益	340	273
当期純利益	170	75
為替レート (\$ / €)	\$ 78円 / €102円	\$ 80円 / €103円

新興国二輪車市場 第4四半期出荷台数予想比△16万台 期末在庫適正化に向けた出荷調整実施

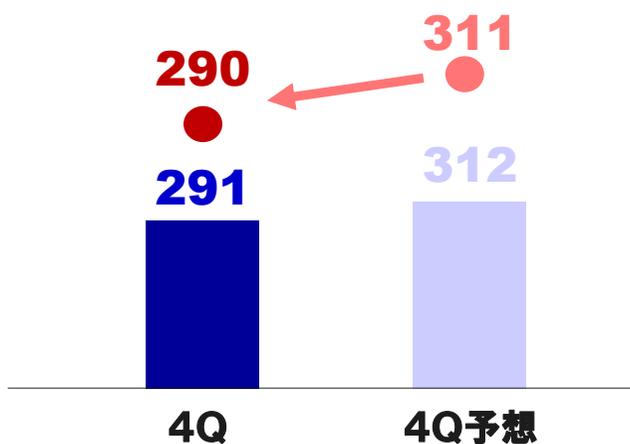
インドネシア (YIMM)



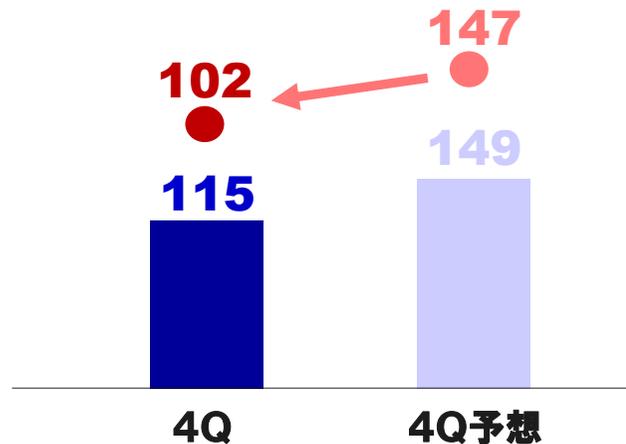
タイ (TYM)



ベトナム (YMVN)



インド (IYM)

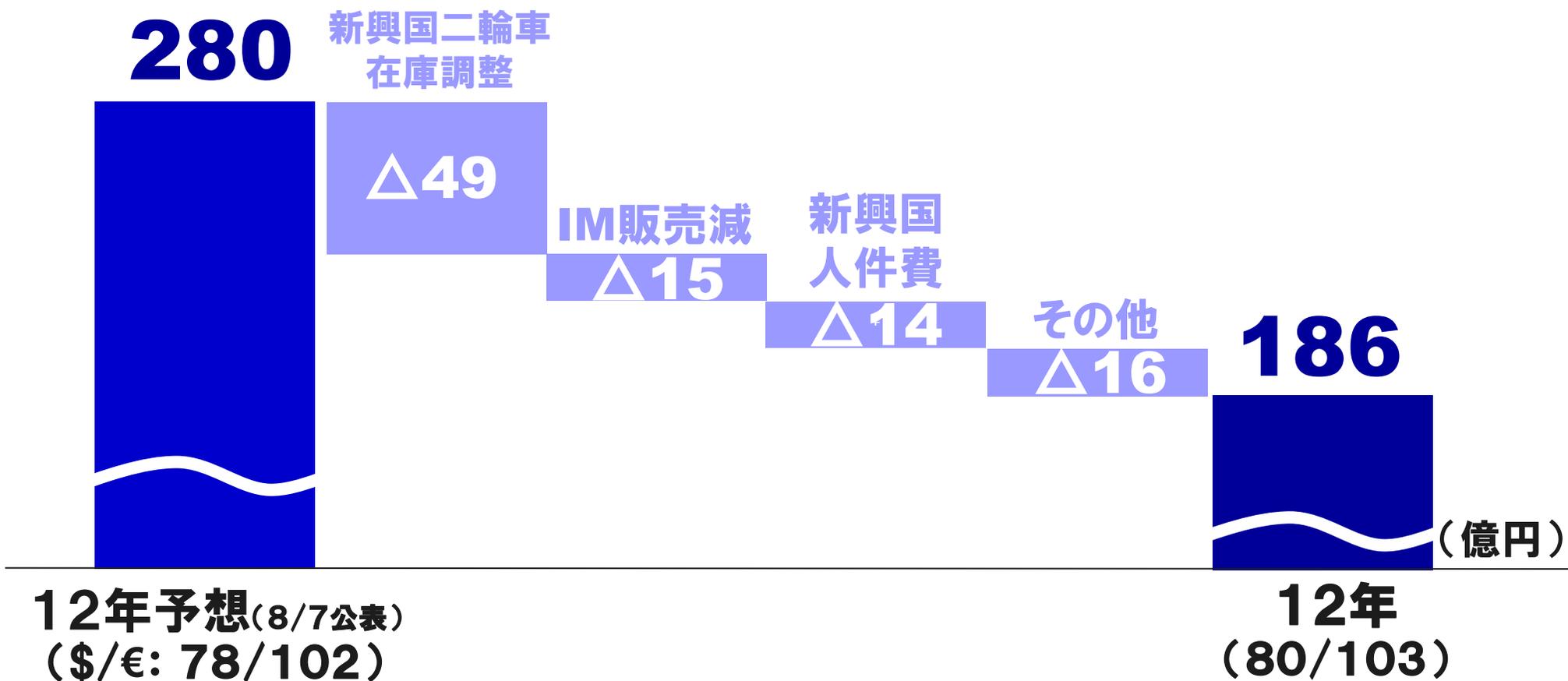


出荷台数
(千台)

売上高
(億円)

※ 売上台数：国内販売台数のみ。売上高：輸出売上含む。

新興国二輪車 在庫調整・IM販売減などにより予想を下回る

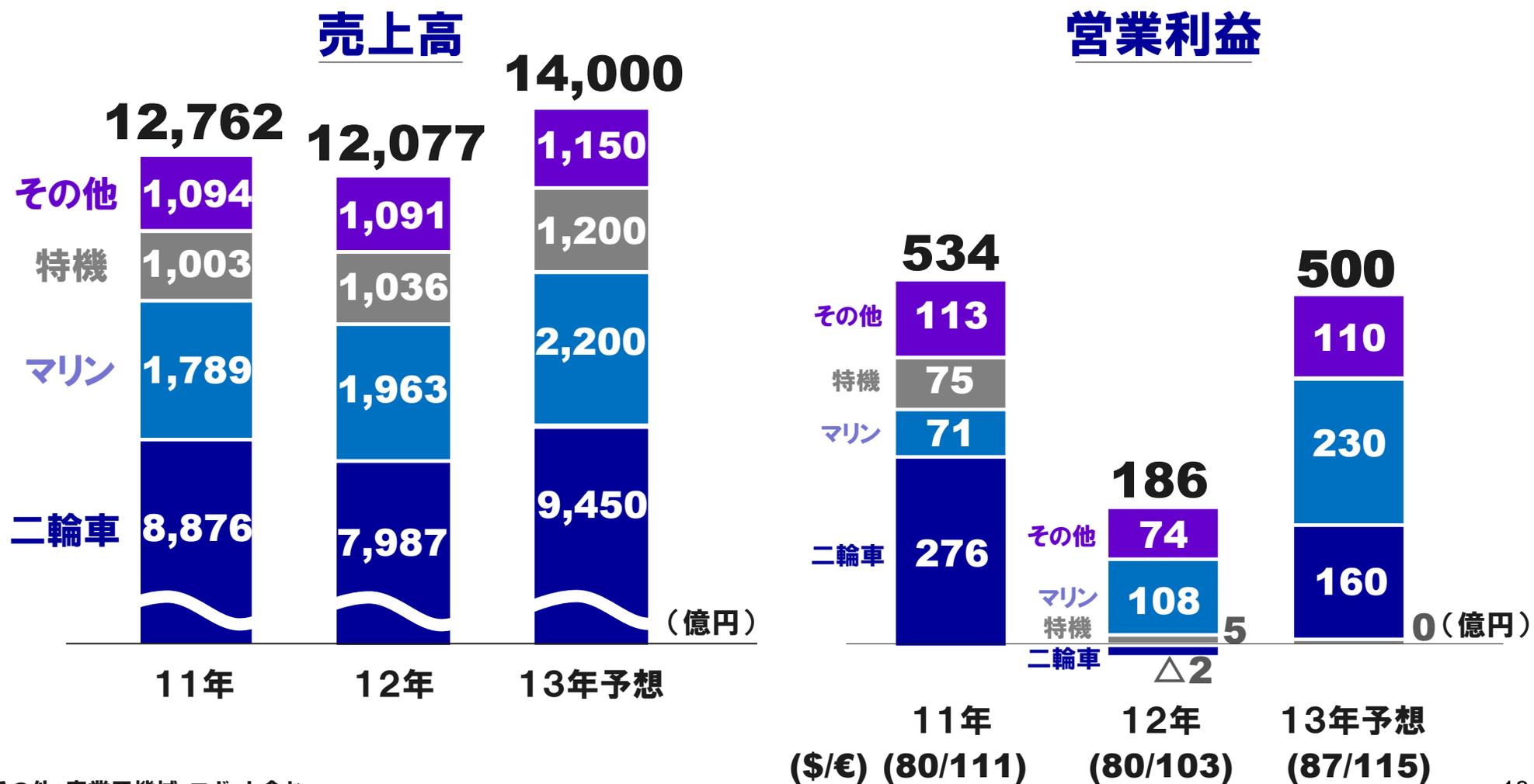


2013年増収増益 2011年の利益水準へ回復

(億円)

	11年実績	12年実績	13年予想
売上高	12,762	12,077	14,000
営業利益	534	186	500
営業利益率	4.2%	1.5%	3.6%
当期純利益	270	75	280
為替レート (\$/€)	\$80円/€111円	\$80円/€103円	\$87円/€115円
D/Eレシオ (GROSS)	1.0	1.1	1.0
自己資本比率	31.2%	32.0%	32.5%
ROE	9.7%	2.5%	8.8%

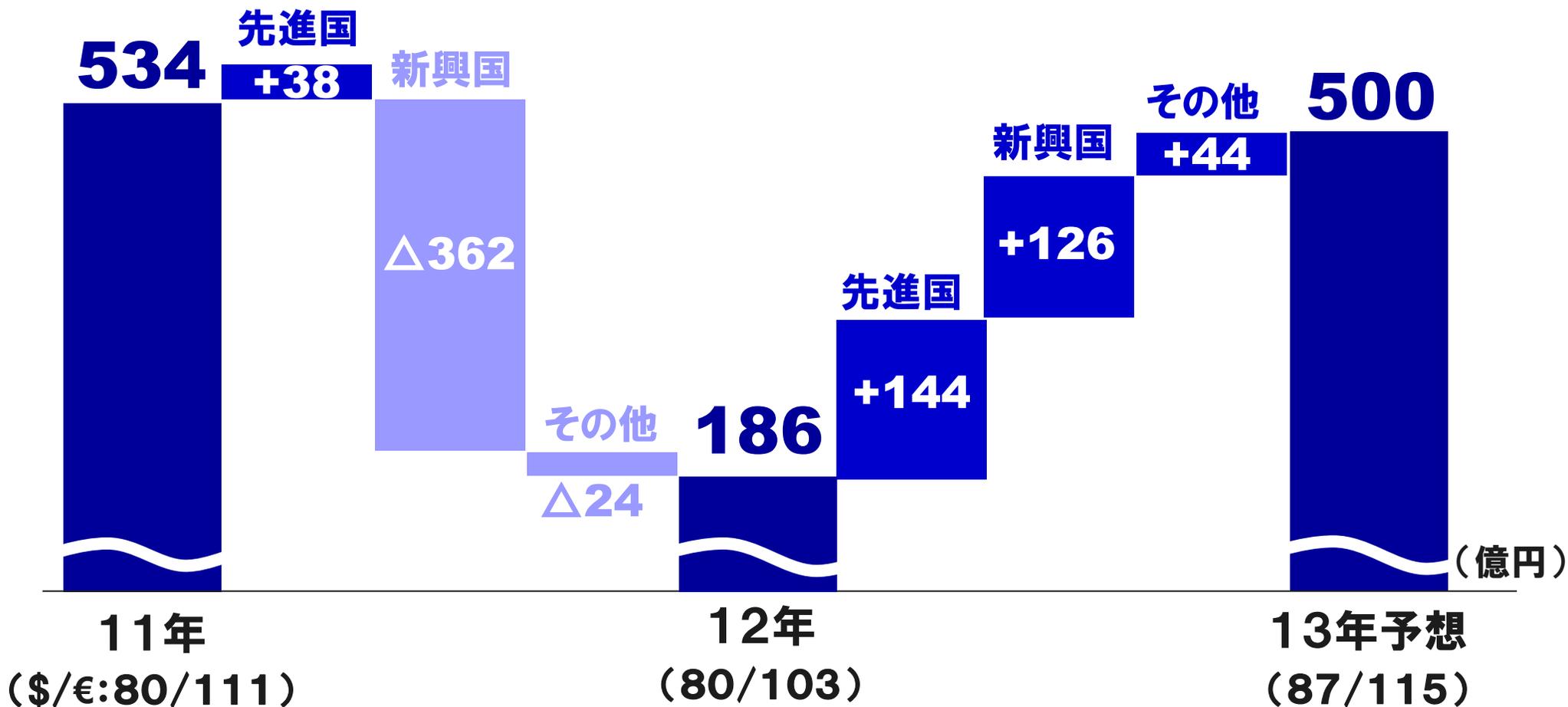
全事業で増収、 マリン事業 大幅増益、二輪車事業回復の見込み



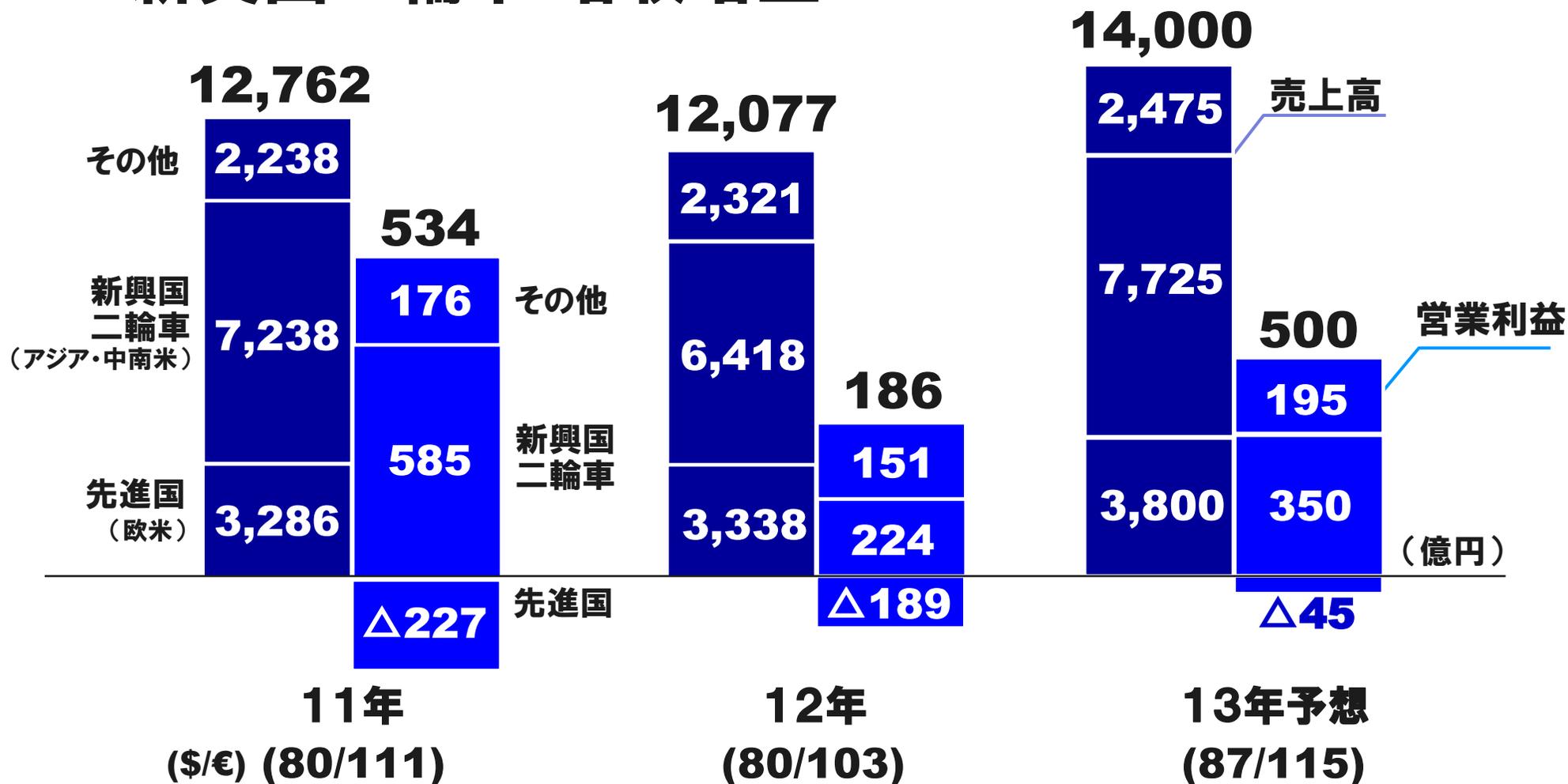
※ その他: 産業用機械・ロボット含む

2012年 新興国二輪車減速により減益

2013年 先進国改善、新興国規模回復により増益



先進国事業の大幅改善を見込む 新興国二輪車 増収増益



※ 先進国：日米欧向二輪車・四輪バギー・船外機・ウォーターピークル・スノーモビル、その他：先進国、新興国二輪車以外

ブランドスローガン

Revs Your Heart

Rev: エンジン回転を上げる、わくわくさせる、昂らせる



Revs Your Heart

私たちヤマハ発動機は、イノベーションへの情熱を胸に
お客様の人生を豊かにする、期待を超える価値と感動体験を提供します



YAMAHA

Revs Your Heart

主要商品別 総需要・当社出荷台数



台数単位:千台

	総需要(当社推定)	
	12年実績	13年予想
日本	442	446
北米	502	521
欧州	1,744	1,695
インドネシア	7,266	7,600
タイ	2,129	2,200
インド	13,806	14,400
ベトナム	3,109	3,140
台湾	628	660
中国	12,630	11,330
その他	4,537	4,971
アジア計	44,105	44,301
ブラジル	1,654	1,741
その他	7,244	8,141
その他計	8,897	9,882
二輪車計	55,691	56,846
船外機	759	786
ATV	516	511
電動アシスト自転車(日本)	386	412

	ヤマハ発動機 出荷台数			
	10年実績	11年実績	12年実績	13年予想
日本	99	101	94	101
北米	53	64	71	73
欧州	227	185	165	179
インドネシア	3,326	3,136	2,423	2,750
タイ	506	473	550	580
インド	259	343	348	500
ベトナム	776	988	922	972
台湾	173	183	179	192
中国	700	608	492	600
その他	343	327	313	346
アジア計	6,084	6,059	5,228	5,940
ブラジル	227	242	164	205
その他	271	331	369	453
その他計	497	573	533	658
二輪車計	6,960	6,982	6,090	6,951
船外機	272	303	322	324
ATV	81	75	70	64
PAS(完成車)	93	105	104	111

事業別売上高・営業利益



売上高 (億円)

	年間			4Q	
	11年実績	12年実績	13年予想	11年実績	12年実績
二輪車	8,876	7,987	9,450	1,960	2,009
マリン	1,789	1,963	2,200	385	423
特機	1,003	1,036	1,200	291	308
産業用機械・ロボット	343	308	410	78	60
その他	751	783	740	190	181
合計	12,762	12,077	14,000	2,904	2,982

営業利益 (億円)

二輪車	276	△2	160	△54	△29
マリン	71	108	230	△15	1
特機	75	5	0	△19	△21
産業用機械・ロボット	63	38	69	8	0
その他	50	36	42	6	7
合計	534	186	500	△73	△42

営業利益率 (%)

二輪車	3.1%	△0.0%	1.7%	△2.7%	△1.5%
マリン	4.0	5.5	10.5	△3.8	0.3
特機	7.5	0.5	0.0	△6.4	△7.0
産業用機械・ロボット	18.2	12.4	16.7	10.5	0.6
その他	6.7	4.6	5.6	3.0	4.0
合計	4.2	1.5	3.6	△2.5	△1.4

(参考)二輪車+ATV (億円)

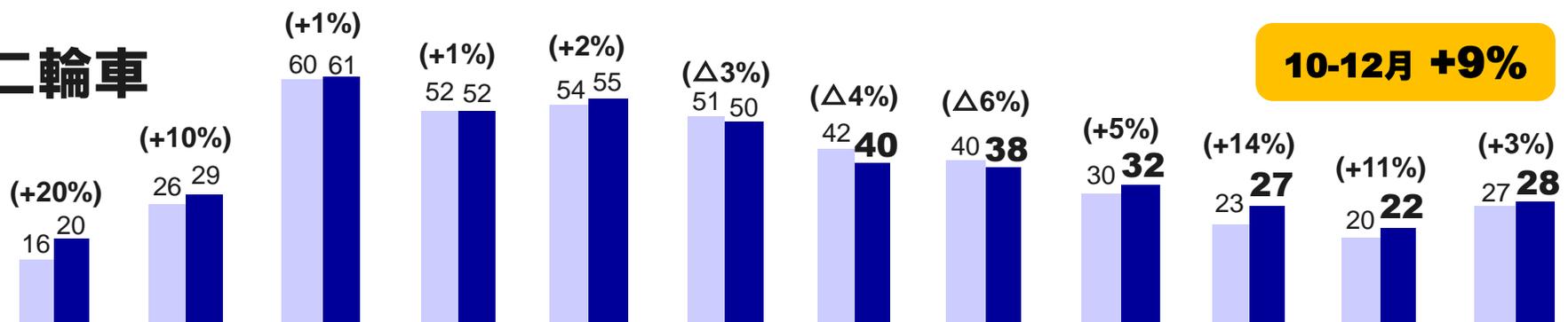
売上高	9,295	8,387	9,880	2,061	2,104
営業利益	327	△37	108	△57	△53
営業利益率	3.5%	△0.4%	1.1%	△2.8%	△2.5%

米国主要商品 月別総需要推移



■ 11年
■ 12年
(千台)

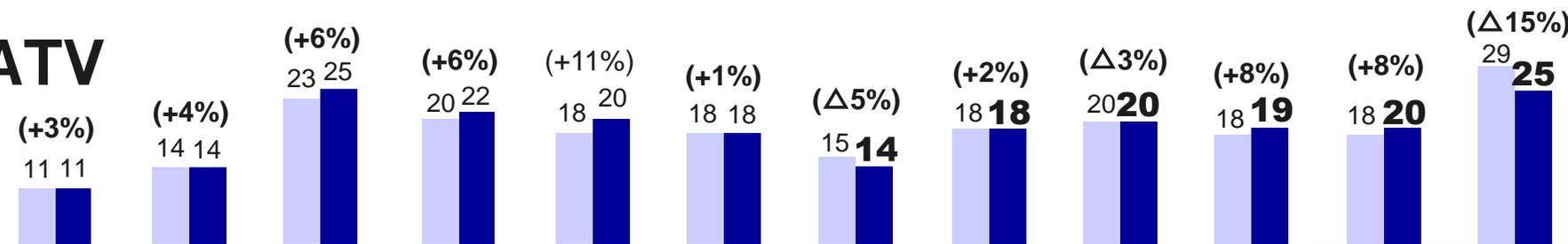
二輪車



10-12月 +9%

1-12月 +2%

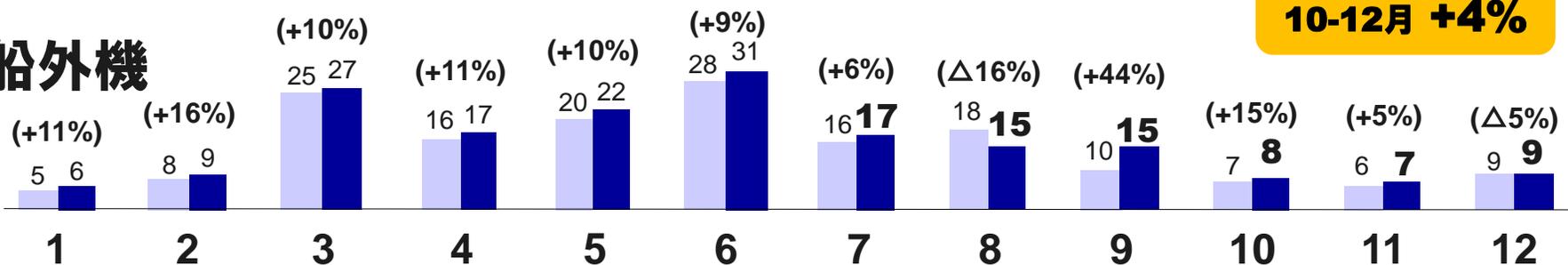
ATV



10-12月 Δ2%

1-12月 +2%

船外機



10-12月 +4%

1-12月 +8%

小売台数 (千台)

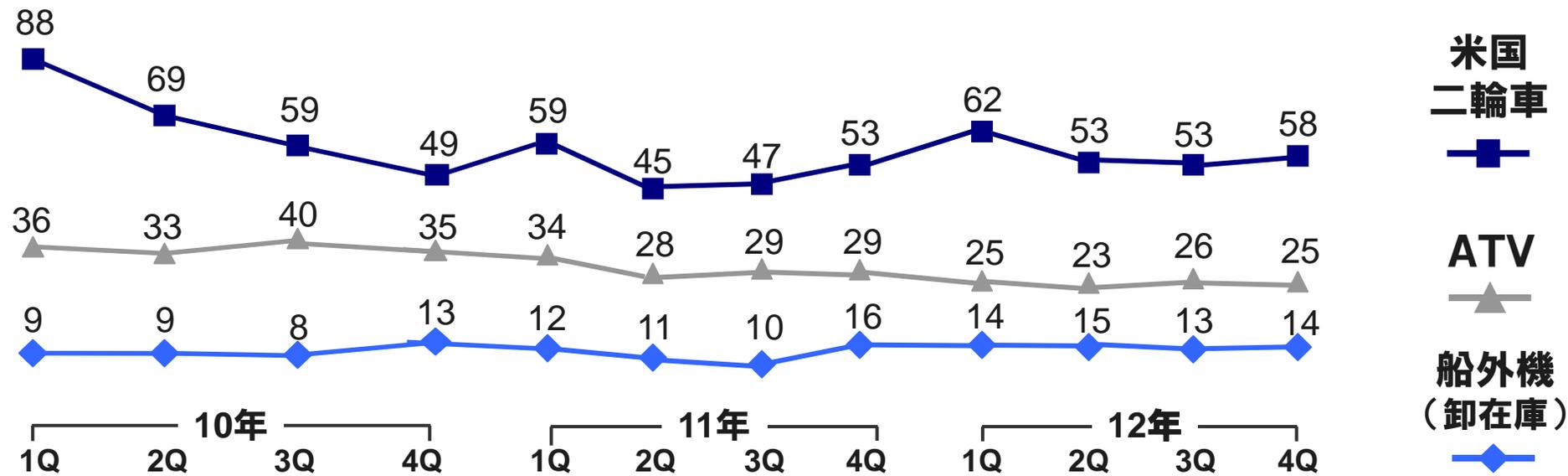
	11年実績		12年実績		11年比	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
二輪車	11	63	11	62	0%	Δ2%
ATV	11	37	9	34	Δ18%	Δ8%
船外機	10	58	9	66	Δ7%	14%

出荷台数 (千台)

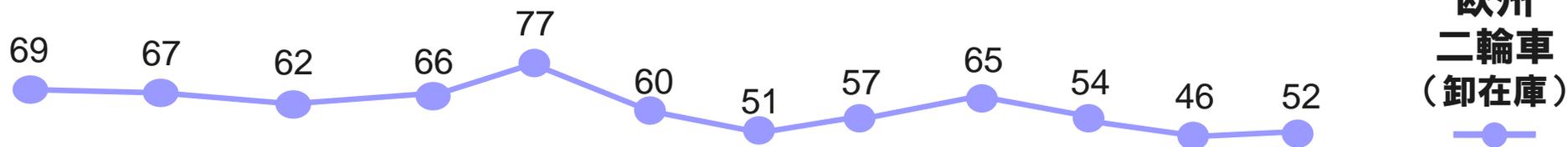
	11年実績		12年実績		11年比	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
二輪車	17	56	18	62	+4%	+11%
ATV	9	35	8	33	Δ7%	Δ5%
船外機	12	59	15	70	+31%	+19%

米国主要商品

(千台)



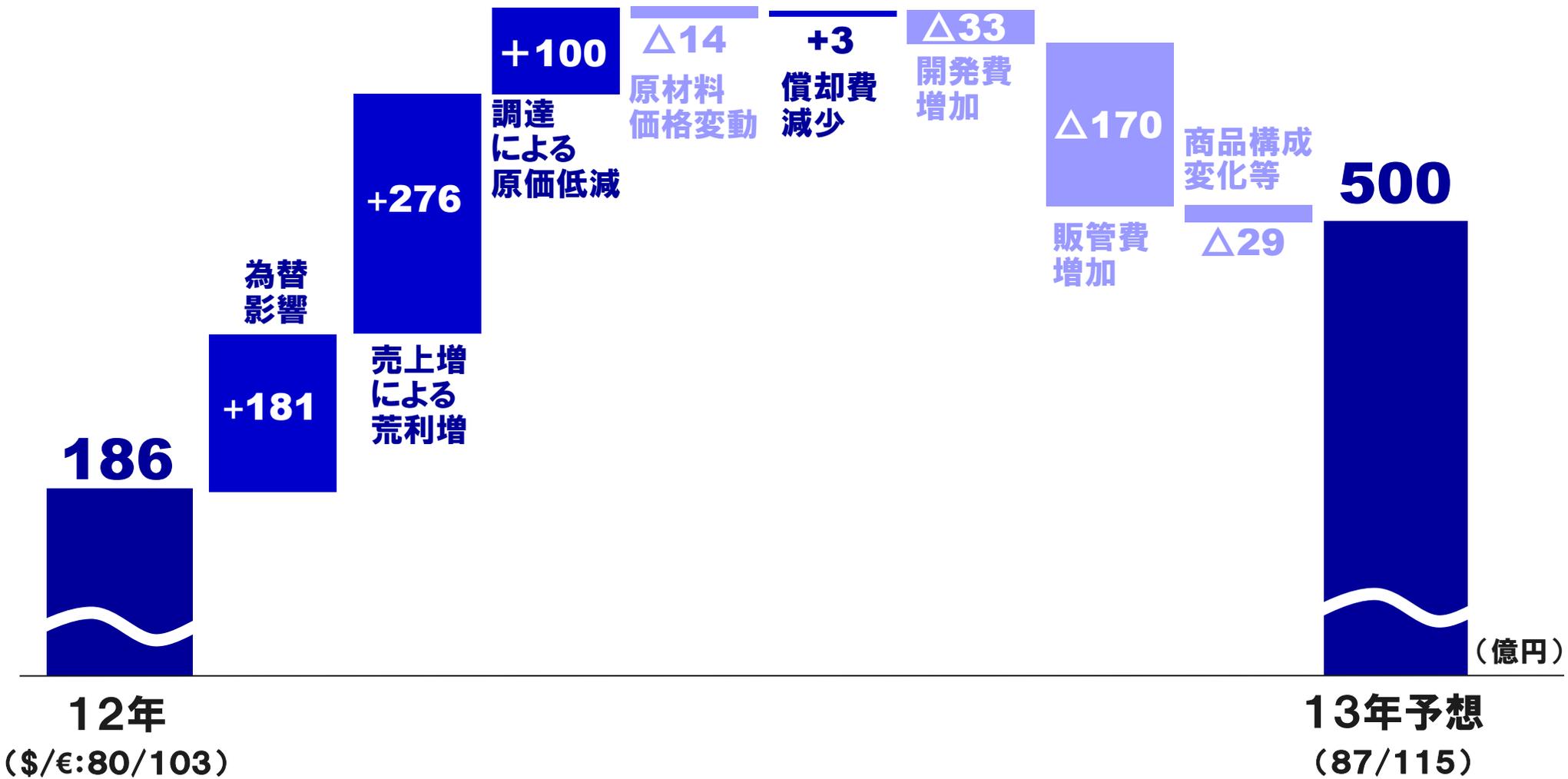
欧州二輪車



営業利益変化要因【2012年 対前年】



営業利益変化要因【2013年予想 対前年】



(億円)	12年(4Q)実績				12年(年間)実績				13年(年間)予想			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
売上レート												
①売上レート差異(荒利益)	22	2	1	25	1	△42	△2	△43	118	60	1	178
※売上・買取レート差異(営業外)	△16	△12	0	△28	△54	△16	△0	△70	18	△5	△0	13
実質影響額(買取レート)	6	△10	1	△3	△53	△58	△2	△113	135	55	0	191
PL換算レート												
11年実績レート(円)	77	104			80	111						
12年実績レート(円)	81	105			80	103			80	103		
13年予想レート(円)									87	115		
②PL換算レート差異(荒利益)	3	0	6	9	△2	△17	△58	△77	19	21	31	70
①+②荒利益への影響額合計	25	2	7	34	△1	△59	△60	△120	136	80	31	248
販管費の換算影響				△8				70				△67
営業利益への影響額				26				△50				181
経常利益影響額				△2				△120				193
1円の変動が与える影響額	US\$ 6億円 EURO 1億円				US\$ 25億円 EURO 5億円				US\$ 17億円 EURO 5億円			

注) ①外貨建売上計上レートの前期差異による荒利益に与える影響額
 ②外貨建個別財務諸表を連結する時の円換算レートの前期差異による荒利益に与える影響額
 ※買取レートの前期差異による営業外に与える影響額

【ご案内】

当社ウェブサイトのIR情報も是非ご覧下さい。

ヤマハ発動機ウェブサイト <http://www.yamaha-motor.co.jp>

ヤマハ発動機ウェブサイト
(英語版) <http://www.yamaha-motor.co.jp/global/>

IR情報 <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/>

決算説明会資料 <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/report/>
ファクトブックやアニュアルレポート <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/annual/>

IR情報 英語版 <http://www.yamaha-motor.co.jp/global/ir/>